

授業科目	顎関節症・口腔顔面痛治療学（インプラント再生補綴学）		
区分・単位	講義・演習・実習 9単位	関連分野等	顎関節症・口腔顔面痛み外来、ノーマライゼーション・ストレス制御歯学分野
年次・期別	1年次～4年次	曜日・時限	月曜日～金曜日
教室	保存科・補綴科診療室、顎口腔機能制御学分野研究室、総合診断室	電話番号	086-235-6680（窪木拓男） 086-235-6681（チーフ：松香芳三）
担当教員	【研究科】教授：窪木拓男，伊達 勲 准教授：松香芳三 助教：水口 一，藤澤拓生 【病院】講師：前川賢治 【学外】和嶋浩一（慶応義塾大学），竹島多賀夫（鳥取大学），山田和男（東京女子医大）		
一般目標	顎関節症・口腔顔面痛治療学に関わる広い学識と高度な専門技能を取得し、顎関節学会認定医としての素養を養う。		
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 顎関節症・口腔顔面痛治療に必要な解剖学、生理学、薬理学、臨床医学を説明できる 顎関節症、慢性痛の発症メカニズムを説明できる 顎関節症・口腔顔面痛治療の臨床成績を説明できる 必要な診査や検査を行い、顎関節症・口腔顔面痛を診断でき、治療計画が立案できる 診断に応じた消炎鎮痛薬、抗うつ薬、抗てんかん薬、湿布などの投薬ができる 顎関節腔内注射、マニピュレーション、トリガーポイント注射を実践できる 簡易精神療法を実践できる 顎関節症・口腔顔面痛治療による治療効果を判定できる メンテナンスの重要性を理解し、実践できる 		
講義概要	<p>1) 顎関節症・口腔顔面痛治療学講義（担当教官全員） 顎顔面部の慢性疼痛疾患およびその鑑別疾患に関する病態、治療法に関する知識を学習する。鑑別すべき疾患としては、精神心理学的疾患、頭痛、耳鼻咽喉科領域疾患、神経痛、口腔運動器疾患、慢性関節リウマチ、変形性関節症などがある。これらの疾患は、医科領域においても対応されているものも含まれることから、近接医科領域の医師と情報交換するために必要なレベルの知識と態度の習得を目標とする。</p> <p>2) 顎関節症・口腔顔面痛み専門外来における臨床見学ならびに診察（臨床実習）（担当教官全員） 顎関節症・口腔顔面痛患者の治療を行い、治療の実際を体得する。また、治療前には治療進行報告会において、進行状況を報告する。その時点での結果、問題点の解決策、考えられる解釈などに関する議論を展開し、参加者からの質問、意見に回答する。これらの積み重ねにより、論理的思考と議論展開の基礎を学ぶ。</p> <p>3) 論文抄読会（演習）（担当教官全員） 隔週で開催される論文抄読会に参加し、順次回ってくる順番によって、各自の研究テーマに基づき、最新の論文を選択し、その内容を発表し、文献的考察を通してこれらの疾患に関する知識を身につける。また、他者の発表では、最新の知識を理解し、論文に関する議論を展開する。</p> <p>各種セミナーへの参加（演習）（担当教官全員） 国内外を問わず他機関講師によるセミナーを積極的に受け、治療・研究の最先端の知識ならびに研究者の議論展開を学ぶ。これはあらゆる知識を得るため、他教室主催のものも積極的に受けることを強く推奨する。</p> <p>4) 学会参加（担当教官全員） 日本顎関節学会に参加し、他発表者の論理展開を理解する。学内のみならず、学外の研究者との交流によって議論を発展させ、より深い追求心が生まれる。また、日本顎関節学会の認定医（5年間）取得のために、学術大会参加、専門医研修セミナーに参加し、知識を深める。また、臨床症例報告ができるように準備しておく。</p>		
テキスト・参考書等	専門書から論文まで多岐にわたるが、極力自ら見出し、目を通すことを望む。		
成績評価基準 成績評価方法	1週間に3回、教授との面談を行う。その内容と、日ごろの研究姿勢、演習、実習に対する姿勢などから総合的に判断する。		

研究活動との 関連	研究室では顎関節症・口腔顔面痛治療学に関する研究（睡眠時ブラキシズムの検知と発症メカニズム、神経系・内分泌系・免疫系の相互作用から見た頭頸部慢性筋痛の病態メカニズム、睡眠時無呼吸症候群の治療法に関する検討など）・臨床を行っており、その延長線上に、この授業科目が存在している。
--------------	---

基礎実習	臨床診査，治療手技に関する実習は講義の中で必要に応じて実施する。
臨床実習	毎週水，金曜日の午後に顎関節症・口腔顔面痛専門外来においてクリニカルクラークシップにより実際の口腔顔面痛患者に対する診査，診断，治療を20症例以上実習する。
症例検討会	臨床実習実施日（水，金曜日）の前日には，翌日来院予定患者のそれまでの治療内容と結果ならびに当日実施予定の治療計画等に関して検討会（ラウンド）を実施する。
講義日程	<p>講義は，毎月第1木曜日，歯学部棟4階第二示説室にて行う。現時点の講義予定を以下に示す。変更になる場合には，登録大学院生に事前に通知する。</p> <p>2009/04/02：疼痛伝達路とその異常（ペインメカニズム） 前川賢治先生 2009/05/07：顎関節症，口腔顔面痛の診査，診断法 水口 一先生 2009/06/04：顎関節症の治療 水口 一先生 2009/07/02：慢性筋痛疾患 前川賢治先生 2009/08/06：機能的頭痛（片頭痛，緊張型頭痛，群発頭痛） 竹島多賀夫先生（鳥取大学） 2009/09/03：二次性頭痛を生じる疾患 藤沢拓生先生 2009/10/01：発作性神経痛（三叉神経痛，舌咽神経痛）の病態と対応 伊達 勲先生 2009/11/05：持続性ニューロパシクペイン 松香芳三先生 2009/12/03：歯に原因のない歯の痛み（非歯原性歯痛） 和嶋浩一先生（慶応義塾大学） 2010/01/07：身体化の概念と身体表現性障害 山田和男先生（東京女子医大） 2010/02/04：身体化を生じうる精神障害（うつ病，統合失調症） 松香芳三先生 2010/03/04：抗うつ剤とベンゾジアゼピン系薬剤 前川賢治先生 2010/03/25：口腔感覚異常症と口腔運動器疾患 窪木拓男先生</p>
本年度参加が 望ましい学会 等	<p>第10回口腔顔面痛学会学術集会 （共催）第22回日本顎関節学会総会・学術大会 日時：平成21年7月24日（金），25日（土），26日（日） 会場：江戸川区タワーホール船堀</p>